

平成 25 年度第 2 回 JaLC 運営委員会議事要旨

開催要旨

日 時 : 平成 26 年 1 月 16 日 (木) 10:00~12:00
場 所 : 独立行政法人科学技術振興機構 東京本部 9 階第 2 会議室
出席者 (敬称略) : 国立情報学研究所 武田英明 (委員長)
国立国会図書館 佐藤毅彦 (委員)
独立行政法人物質・材料研究機構 谷藤幹子 (委員)
独立行政法人科学技術振興機構 水野充 (委員)
愛知大学 時実象一 (オブザーバ)
科学技術振興機構 中島律子、加藤齊史、余頃祐介 (事務局)

議 事 概 要 : 1. 平成 25 年度実施状況<報告>
2. DOI 登録対象コンテンツ<審議>
3. DOI 登録方針<審議>
4. 国立国会図書館による学位 (博士) 論文への DOI 付与について (案)
<審議>
5. JaLC2 の開発<審議>
6. DataCite への加入<審議>
7. ジャパンリンクセンター参加規約の改正<審議>
8. JaLC 正会員入会審査等の手続き<審議>
9. JaLC 正会員入会審査<審議>

議事概要

1. 「平成 25 年度実施状況」について事務局より報告があった。

- ・当初、現 JaLC システムと新システム (JaLC2) の並行稼働期間を設ける計画であったが、JaLC2 稼働開始をもって現 JaLC を閉鎖する。これに伴い、必要な現行機能は、JaLC2 に移行する。(JaLC が用いているシステム基盤の変更の為)。
- ・移行期間が必要なため、JaLC2 の稼働開始を延期。稼働開始は調整中 (平成 26 年 12 月頃を想定)。
- ・JaLC2 稼働に伴い、論文以外のコンテンツ (NDL 図書等) を対象とした DOI 登録が可能になる。

2. 「DOI 登録対象コンテンツ」について審議を行った。

- ・JaLC が扱うべきコンテンツの範囲について、現在の取り扱い範囲である学術分野を超えるものについて議論を行った。既存機能で取り扱える限りにおいては、幅広に受け入れていく。非学術分野を新対象とする場合に新機能開発が必要になるのであれば、扱いについて検討する。対象範囲を考える際に問題となるのは、DOI 登録対象コンテンツが商業であるか否かではなく学術か否かである。
- ・インターネット上では非公開のコンテンツ (例: NDL の雑誌記事 (NDL にて閲覧可能)) に DOI を登録することは、指定場所に行けば閲覧可能な旨を周知できるという意義がある。ただし、流通促進が目的ならば、インターネット上で非公開のコンテンツに DOI を登録する意義はない。この点留意

し DOI を登録することとなった。

- ・NDL から、DOI 登録対象コンテンツに「Web サイト」追加する提案があったが、DOI 登録の意味を今後検討していくこととなった。

3. 「DOI 登録方針」について審議を行った。

- ・出版社から成る団体である CrossRef は出版版のみに対して DOI 登録を行っており著者版は対象としていない。JaLC は出版社以外にも参加し CrossRef よりも多様性がある。よって、JaLC では著者版も DOI 登録の対象とし、出版版とは別の DOI を登録することを推奨する。JaLC2 では、著者版と出版版との関係を示すメタデータ項目を設ける予定である。
- ・書籍関係、学位論文の著者版も同様である。
- ・著者版への DOI 付与について、JaLC の方針を明言し、DOI を使う人が混乱しないようにする。

4. 「国立国会図書館による学位（博士）論文への DOI 付与」について審議を行った。

- ・「NDL がデジタル化した学位論文」は、NDL の prefix を使い NDL が一括して DOI 登録を行う（マルチプルレゾリューションの優先順位は最下位とし、機関リポジトリが独自に登録した場合にはそちらを優先的に表示）。
- ・「インターネット公表を原則とする学位論文」は、NDL では DOI 登録をしない（NDL に来た時点で DOI がついていなくとも、後で学位授与機関（大学等）で DOI を登録することがあるため）。
- ・学位論文への DOI 付与のユースケースの検討を、NII, NDL, JST の 3 機関担当で今後行う。

5. 「JaLC2 の開発」について審議を行った。

- ・マルチプルレゾリューションは、JaLC DOI に対してのみ可能であり、CrossRef DOI では仕組み上不可能であることを確認した。

6. 「DataCite への加入」について審議を行い了承された。

- ・DataCite の会員種類は正会員と賛助会員があるが、賛助会員でも DOI 登録が可能かどうかを DataCite に確認し、会員種類を決定する。
- ・DataCite 加入のメリットを具体的に展開することの必要性が指摘された。事務局が確認して報告することとなった。

7. 「ジャパンリンクセンター参加規約の改正」について審議を行い了承された。

審議内容は以下の 4 点。

- ・年会費適用期間を年から年度へ変更
- ・年会費を無償とする施行期間を平成 25 年度まで延長
- ・年会費の内税表示を明記
- ・誤記訂正。

8. 「JaLC 正会員入会審査等の手続き」について審議を行い了承された。

- ・JaLC の正会員入会審査及び準会員 prefix 発行審査について、メール審査の係る手続きを定めた。

9. 「JaLC 正会員入会審査」について審議を行い、以下が了承された。

- ・ 気象庁気象研究所
- ・ 独立行政法人 日本原子力研究開発機構 (JAEA)
- ・ 脳科学辞典編集委員会

以 上